

シンガポールへ三重県産水産物を提供 伊勢エビや浦村牡蠣も 三重県フェア“MieFair”開催

株式会社エクストラコミュニケーションズ

株式会社エクストラコミュニケーションズ（本社：三重県津市、代表：前野智純）では、本年度、三重県農林水産物・食品輸出促進協議会水産部会からの業務委託を受け、シンガポールの4箇所のレストランにおいて三重県産水産物を使用した特別メニューを提供する三重県フェア「MieFair」（主催：三重県農林水産物・食品輸出促進協議会水産部会）の開催を支援いたします。

国は、2020年までに農林水産物・食品の輸出額を1兆円とする目標を掲げ、輸出を促進しており、2015年の輸出実績は7,452億円（注1）と前年比20%以上の伸び率を示しています。また、海外における日本食レストランの増加や和食ブームの到来など、豊かな自然に恵まれた三重県内の農林水産物の輸出拡大に向けて商機が訪れています。

（注1）平成27年農林水産物・食品の輸出実績（速報値）より引用

今回三重県フェアを開催するシンガポールは、6億人を有するASEAN諸国を代表するショーケースに位置づけられており、個人所得平均が日本を上回り、また1,000店舗を超える日本食レストランがひしめく親日国として注目度が高く、自由貿易港を有する世界の物流ハブ国家としても知られています。

この情勢下において、三重県農林水産物・食品輸出促進協議会水産部会では、平成27年10月にシンガポールで「三重県産水産物試食商談会」を開催するなど、レストランオーナーやシェフ、スーパーの食品バイヤー、食品商社等と県内水産関連事業者との商談機会を創出し、三重県産水産物の輸出実現に向け取り組んでいます。

今回、シンガポールで三重県の食材がフェアメニューとして提供されるのは初めてで、三重県が誇る伊勢エビや浦村牡蠣、マンボウなどの食材をシンガポリアンに楽しんでいただきます。

なお、伊勢志摩サミットを今年5月に控え、盛り上がりを見せる三重県の認知向上及び、インバウンドへの誘致等も考慮し、開催期間中には観光用動画の放映やPRスタッフによる観光パンフレットの配布等も行なわれる予定です。

環太平洋パートナーシップ（TPP）協定への署名が行なわれ、今後、貿易の自由化に拍車がかかるなか、海外への三重県産水産物の輸出が引き続き順調に行なわれるよう、弊社では三重県農林水産物・食品輸出促進協議会水産部会と連携して更なる支援を続けてまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社エクストラコミュニケーションズ

広報担当：榊原美和(サカキバラ ミワ)

TEL: 059-221-7001 / メールアドレス: company@excom.co.jp

開催概要

■ 三重県フェア Mie Fair

Fish Mart SAKURAYA

開催期間：2016年2月19日～3月末

開催場所：Fish Mart SAKURAYA (West Coast Plaza 店、Parkway Parade 店、Anchorpoint 店)

IKYU

開催期間：2016年3月上旬

開催場所：IKYU (Tiong Bahru)

■ 提供素材

伊勢エビ、浦村牡蠣、あおさ、マンボウナゲット、魚ギョーザ、魚そうめん、めかぶ など
各レストランオリジナルのメニューにて提供される予定です。



運営会社概要

- 社 名： 株式会社エクストラコミュニケーションズ
- 本社所在地： 〒514-0006 三重県津市広明町 418-1
- 設 立： 2000年2月1日
- 代 表 者： 代表取締役社長 前野智純 (まえの ともずみ)
- 業務内容： EC プロデュース、ASEAN 販促支援
- 社員数： 20人
- U R L： <http://www.excom.co.jp/>